



一年頭御挨拶

清大寺住職
山川宗玄

賀正

平成二十七年己未歳三元

皆様、目出度くご超

歳のことと拝察、お慶

び申し上げます。

また旧年中に賜りました、大師山清
大寺への皆様方からの変らぬご厚誼、ご
芳情に心から感謝申し上げます。

さて本年、干支は「己未」羊の歳とな
ります。そこで羊に因みある言葉が憶い
出されます。

「宋子」外篇にあるのですが、「善く生
を養う者は羊を牧するが若くす。然り、
其の後る者を見て、之に鞭つ。」

羊を牧する人は、全ての羊を監視する
必要はない。弱いもの群れを乱すものに
眼を配り、後に遅れるものを鞭打ち、全
体を統率し、群れを守っている。

人が生命を養生するのも、同じ道理で
あり、小さな組織から大国の政まで、為
政者から家庭の長まで、皆この道理を心

越前大仏ニュース

【第十三号】

発行所

〒九二一〇八二 福井県勝山市片瀬五〇字

臨済宗妙心寺派

大師山 清 大 寺

TEL 0779-87-3300
FAX 0779-87-2292



勢力の凶弾に倒れたのですが、奇跡的生
命力で復活。その後も、陰に陽に脅迫
や殺害への恐怖に怯むことなく、活動を
再開拡大していくた勇氣と智恵に対し
ての受賞でした。

この平和賞は、すべての最も弱き声
なき子供のためのものです。この子供た
ちの声に耳を傾けられなければなりません
せん」とはなんと真理の光溢れる言葉で
しょう。

子供を人と替えれば正にこれこそ、
仏教者と寺院の使命、特に大師山清大寺
の目指すところです。

しかし、その為には先の羊を飼い育
てる牧者の智慧を知らなければなりません
せん。

自分も他人も、その弱点を克服し、善き
ところを養い育て、群れである社会に貢献
する。そのことで又自分も成長していく。
単純な理ながら、深い道理ともいえ
ます。

では、本年も、何卒ご法愛を賜ります
こと切にお願いし、以上を以つて年頭の
ご挨拶に代えさせて頂きます。

そのことで、イスラム教スンニ派武装
見に依る差別や虐待に対し敢然と抵抗
し、全ての子供に教育をと、彼女は訴え
行動を起こしたのです。



先祖供養の為に、壹千体の仏像を奉
納し、お祀りすることになりました。
皆様からの御供養をお願い致し
ます。

先祖供養仏 一体 金壱萬円也
《お問合せ先》 勝山市片瀬50字 大師山 清大寺 迄



壹千体供養仏